

■研究・実践の課題（テーマ）

実務者のための栄養管理プロセス研修会

■主任研究者 塚原丘美

■共同研究者 立花詠子、畠山桂吾

■研究・実践の目的、方法、結果、考察や提案等の概要

【目的】

昨年度の実務者のための栄養管理プロセス研修会は、これまでの研究初心者に対する研修の中で一番難所になる「データの整理・統計処理」を克服するために、臨床研究・統計処理をテーマにして1日研修を行なった。とても好評であり、「もう一度復習したい」、「今回は参加できなかったが是非参加したい」など、もう一度開催してほしいという要望をすでに何件も受けた。そこで、今年度も同時期に同じような研修会を開催した。

【方法】

対象：病院栄養士として実務を行っている卒業生 15名

期間：2018年2月10日 会場：ウィンクあいち

内容：「EZRを使って統計解析をしてみよう！」

9：30～12：30 「統計演習 入門編」

13：30～16：30 「統計演習 初級編」

16：45～17：00 総評・まとめ

【結果・考察】

最後に行ったアンケートより、研修前後を比較すると理解度の深まった参加者がほとんどであった。特に前半の入門編は理解度が高く、今後の研究で使っていけると感じた者が多かった。一方、後半の初級編の理解度はそこまで高くなく、理解度は入門編より低かった。特に「7割ほどの理解度だった」「知らない解析名ばかりだった」など、研修後でも理解度は低い者もいた。しかし、「データを扱っていけばなんとかなりそう」「何度も繰り返し作業を講義に入れてもらえたことで、理解しやすかった」という声もあり、全体的には達成感を感じられる研修会であった。

また、今より時間をかけた研修会を希望している者や、実際の自分のデータを使っての研修会を希望する者も数名いたことから、今後の改善点も見えてきた。